

## 法律ネットワーク

# SR・FP研究会ニュース

<http://www.jimusupport.co.jp>

頼れる企業のアドバイザー

## 株式会社 事務サポート

社会保険労務士 青木・小畑・斉藤・佐藤・渡邊  
税理士・青木信三  
〒144-0052 大田区蒲田 4-47-5 第二石井ビル 602  
TEL: 03-3731-8046 FAX: 03-3731-8907

### 👉 ブラック企業・ブラックバイトに関する相談事例と行政の対策

#### ◆過去最多の相談件数

連合は、昨年12月に「全国一斉労働相談キャンペーン」を実施し、その一環として「労働相談ホットライン」を行いました。先日その結果が発表されました。

今回の電話相談は、いわゆる“ブラック企業”や“ブラックバイト”に関することを中心に実施されましたが、2日間の集中期間を設けて行ったキャンペーンの中では過去最多の相談件数(979件)となったそうです。

#### ◆具体的な相談事例

それでは、公表された具体的な相談事例を見ていきましょう

##### 【正社員】

1日の勤務時間が10~12時間と長時間労働を強いられている。有給休暇もほとんど取れない状態。それに加え、上司からの暴言や嫌がらせもある。上司に「これ以上サービス残業はできない」と伝えたら、ますますパワハラがひどくなった。(40代女性、医療・福祉関連)

##### 【パート】

パートで勤務していたが、会社から「仕事がなくなったので辞めてくれ」と言われ、即日解雇。解雇理由書を求めたが応じてくれず、解雇予告手当もない。雇用契約書ももらっていない。(60代男性、運輸業)

##### 【アルバイト】

アルバイトで塾講師をしている。授業以外の仕事もしているが、その分の賃金が支払われない。退職を申し出たが、「来年の3月までは辞めさせない」と言われている。(20代男性、教育・学習支援業)

##### 【派遣社員】

休日に強制的に勤務指定され、時間外労働も強制。休暇もほとんど取れない。派遣元担当者に相談したが、相談したことが派遣先に知られてしまい、派遣先から「使えない」「ここで働けなくなるよ」など、暴言によるパワハラを受けるようになった。(30代男性、製造業)

#### ◆「ブラックバイトに」に関する対策

ここ最近、大きな話題となっている「ブラックバイト」ですが、厚生労働省と文部科学省は、昨年末に学生アルバイトの多い業界団体に対して、労働条件の明示・賃金の適正な支払い・休憩時間の付与などの労働基準関係法令の遵守のほか、シフト設定などの課題解決に向けた自主的な点検の実施を要請しました。

厚生労働省では、今後も大学生などに対する関係法令の周知・啓発や相談への的確な対応など、学生アルバイトの労働条件確保に向けた取組みを強化していくそうです。

### 👉 新着情報

#### ●介護休業給付金「67%」に引上げへ(12月24日)

政府は、介護休業給付金の給付率を賃金の40%から67%に引き上げ、早ければ来年度中にも実施する考えを示した。また、65歳以降に雇用された人を雇用保険の適用対象とする方針。厚生労働省は、これらの内容を盛り込んだ法改正案を来年の通常国会に提出する予定。

次ページへ

●性的少数者の差別解消推進法案を国会に提出へ 民主党（12月21日）

民主党は、来年の通常国会に、性的少数者などに対する差別解消を推進する法案を提出する方針を示した。政府には基本方針、自治体には基本計画を義務付け、行政や企業における不当な差別的取扱いを禁止する。また、事業主には、研修などを通じた職場環境の整備を義務付ける。

●届出なく死亡・不明者に年金支給 322件（12月25日）

厚生労働省は、死亡したり行方不明になっていたりしたにもかかわらず、届出がないために親族などが公的年金を不正受給していたケースが322件あったことを発表した。日本年金機構は、死亡が確認された233件については過払い分の返還を求め、不正受給と認定した27人を刑事告訴し、25人が逮捕された。

●高齢者雇用の起業家に助成へ 政府案（1月6日）

政府は、60歳以上で起業した事業主を対象に、高齢者を複数雇用すれば200万円を上限に実費の3分の2、40～59歳の場合であれば150万円を上限に実費の半額を助成する仕組みを今年4月にも設ける案を明らかにした。60歳以上の高齢者を2人以上雇うか40～59歳の中高齢者を3人以上雇うことを条件とし、雇用後に1回だけ支給する方針。2016年予算成立にあわせ、厚生労働省が省令を改正する考え。

●社会保険料負担増で賃上げ効果が半減 経団連調査（1月11日）

経団連の調査で、従業員への賃上げの半分近くが社会保険料の負担増により打ち消され、手取り収入が伸び悩んでいることがわかった。2014年度の年収ベースの平均給与額は563万7,000円で、2012年度の552万3,000円に比べ11万4,000円増えた一方で、社会保険料が5万2,000円増加していた。

●マイナンバー 自治体窓口での代行記入を認める（1月12日）

厚生労働省などが、マイナンバー制度における窓口での運用にかかる通知を昨年末までに相次いで全国の自治体に出していたことがわかった。国民健康保険などの手続きにおいて、申請者がマイナンバーを把握しておらず提示がない場合に、窓口の職員らが住民基本台帳ネットワークで番号を調べて書類への記入を代行することなどを認める内容。生活保護、介護保険などに関しても同様の措置を認める。

●定年延長と均等待遇の推進で有識者会議立上げ 厚労省（1月20日）

厚生労働省は、1月中にも「定年延長」や「均等待遇」を柱とした有識者検討会を立ち上げる方針を示した。具体的には、企業が定年を延長した場合の補助金を手厚くすることや、正規・非正規労働者の格差是正を図る案が出ており、3月をめどに報告書をまとめる考え。



関東地方は12月までは比較的暖かく、1月に入ってようやく冬らしい気候となりました。急な気温の変化に体調をくずされないようお気を付け下さい。この所の寒さにホッカイロをお腹に貼って大失敗、お風呂に入った時に私のおへそ脇に真っ赤な爛れを発見しビックリしました。痛みを感じなかったのが付きませんでした。低温火傷って怖いです。皆さんお気を付けてください。

交通事故による死者全体が年々減るなか例外なのが65歳以上の高齢者ドライバーの交通事故の増加です。私の先輩が先月、卒免されましたがとても運転上手でゴルフの時はいつもお世話になりました。私も昨年の誕生日に免許更新しませんでした。皆からはまだ早いのではと言われましたが、目、とっさの判断力は確かに加齢と共に衰えてきたのは間違いありません。寂しくはありますが、大きな事故もなく過ごせたことを感謝しています。極力心がけて一駅前で下車して歩きます。大股で歩くと姿勢が良くなるそうですよ。